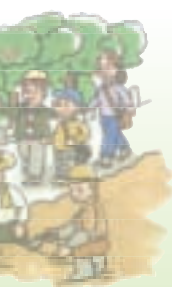


郡山市東部地域づくり 基本計画

概要版



郡山市





～人と自然、歴史文化が輝く 魅力あるまち～ を目指して

郡山市長 原 正夫

東部地域は、豊かな自然や伝統芸能・文化などの豊富な地域資源に加え、高速交通へのアクセスの容易さなどの地理的特性を有し、地域産業の振興や観光開発など、文化・経済の発展に可能性を秘めた地域であり、その振興や活性化を図ることは、本市の均衡ある発展のため欠かすことのできないものであると考えております。

「郡山市東部地域づくり基本計画」は、これらの地域資源や地理的特性を最大限に生かし、地域住民が主役の協働の地域づくりを進めるため、郡山市第五次総合計画を踏まえて策定したものであり、地域づくりの目標として、将来像を「人と自然、歴史文化が輝く 魅力あるまち」と定め、その実現のため、目指すべき基本的な方向性や取り組みの方針を示すものです。

本計画のもと、人づくりをすべての基本とし、地域づくりの原動力となる住民力や地域力を高め、魅力と活力にあふれる地域づくりを推進してまいりますので、皆様のご理解と積極的なご参加をお願いいたします。

2010年3月

郡山市



計画策定の趣旨

郡山駅東口を含む東部地域一帯の振興や活性化を図ることは、本市の均衡ある発展を考えるうえで欠かすことのできないものであることから、郡山市第五次総合計画を踏まえ、本地域が将来目指すべき方向とそれを実現するための方策等を明らかにし、さらなる振興や活性化を図るため策定するものです。

計画区域

計画区域は、郡山駅東口周辺を含む東部地域とします。

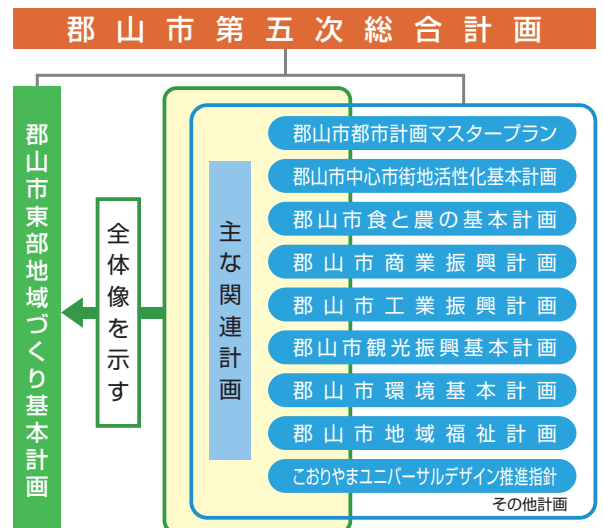
東部地域とは、阿武隈川以東の地域とします。また、東部地域の玄関口であるとともに、東部地域と中心市街地等を結ぶ重要な拠点である郡山駅東口周辺の地域を含めます。

計画期間

本計画は、2010年度を初年度とし、2019年度を目標年度とする10か年計画として策定します。

計画の位置づけ

本計画は、本地域の「目指す姿」や「進むべき方向性」を示すとともに、各施策や事業等の整合性、効率性、実効性等を確保するものです。さらには、住民や事業者などが、自主的・主体的に取り組む地域づくり活動や地域間の連携を行うための方向性を示す行政との共通の指針となるものです。



第五次総合計画をはじめ、各計画の東部地域に関連する部分を踏まえ、総合的かつ横断的な視点により、全体像を示す。

東部地域づくり基本計画



大安場史跡公園 (田村町)



紅枝垂地蔵ザクラ (中田町)



高柴デコ祭り (西田町)



市立美術館 (安原町)



郡山駅東口広場

東部地域の役割

- 潤いと安らぎの創出
- 工業製品の生産
- 水の供給
- 食の供給
- 人材の活用

東部地域の役割を認識しつつ、地域資源を守り、最大限に生かしながら、新たな息吹を吹き込み、魅力と活力にあふれた地域づくりを進めていきます。また、本地域と他地域との機能を相互に補完させることにより、本市全体の持続的な発展を目指していきます。



計画の体系

東部地域の将来像 「人と自然、歴史文化が輝く 魅力あるまち」

基本方針

将来像の実現に向けて、3つの「目指す地域の姿」等を定めたもの

目指す地域の姿Ⅰ 人と文化が響き合う 魅力ある地域	目指す地域の姿Ⅱ 人と地域資源を生かした 活気あふれる産業	目指す地域の姿Ⅲ 人と自然が調和した 快適で安全な暮らし
--	--	---

地域づくり戦略

「基本方針」の推進に向けて、重点的かつ先導的な地域づくりを進めるため定めたもの
歴史的経緯や地理的条件、地域特性や課題の類似性、地域間の連携などを踏まえ3つのゾーンに区分

I 緑と歴史の里ゾーン ※田村・西田・中田地区等	II 文化と暮らしゾーン ※旧郡山地区等(阿武隈川以東)	III 東部地域の玄関口ゾーン ※郡山駅東口周辺地区
戦略目標 1 花と伝統文化の里づくり 2 高速交通網を生かした活力づくり 3 豊かな自然に囲まれたふるさとづくり	戦略目標 1 文化の薫り高い地域づくり 2 「守る」から「発信」への展開 3 潤いと安らぎある美しい街並みづくり	戦略目標 1 出会いと交流の東部地域の玄関口づくり 2 活力と賑わいづくり 3 魅力ある都市空間づくり

広域的視点で取り組む未来へつなぐ地域づくり(3つの広域的な視点)

実施計画

第五次総合計画実施計画の中で3年間の計画として毎年度見直し

守る **創る** **生かす**

これまで培われた地域の財産を守り、後世に伝えていきます。 地域、事業者、行政等の協働により新たな「誇り」と「活力」を創り、育てます。 地域の財産をさらに生かし、魅力ある地域づくりを推進します。

基本理念

「創る」、「生かす」、「守る」の3つの理念を基本にしながら地域づくりを進めます

基本方針

目指す地域の姿Ⅰ 「人と文化が響き合う魅力ある地域」

「まちづくりは人づくり」を基本とし、地域住民が主役の協働による地域づくりを進め、本地域の伝統芸能や文化などの豊かな地域資源に誇りを持ち、また、守り生かすことにより、自然や歴史・文化にふれながら、安心して生きいきと暮らせる地域を目指します。

- ①笑顔で暮らせる地域づくり（協働、地域づくり等）
- ②豊かな心を育む地域づくり（教育、スポーツ）
- ③伝統と文化を生かした地域づくり（歴史・文化）
- ④出会いと、つながり、人の輪が広がる地域づくり（交流）
- ⑤安心して生きいきと暮らせる地域づくり（福祉）



目指す地域の姿Ⅱ 「人と地域資源を生かした活気あふれる産業」

本地域の強みである人材や豊かな自然、伝統芸能や文化、農産物、本市発展の礎を築いた企業などの地域資源や、郡山東インターチェンジを有するといった地理的特性を生かしながら、農業、商業、工業、そして観光の連携を図り、活気にあふれ躍動する産業の振興を目指します。

- ①魅力あふれる農林業の振興（農林業）
- ②活力と賑わいのある商業の振興（商業）
- ③創造性豊かな工業の振興（工業）
- ④地域特性を生かした観光の振興（観光）
- ⑤地域の人材を生かせる就業環境の充実（雇用と就労）



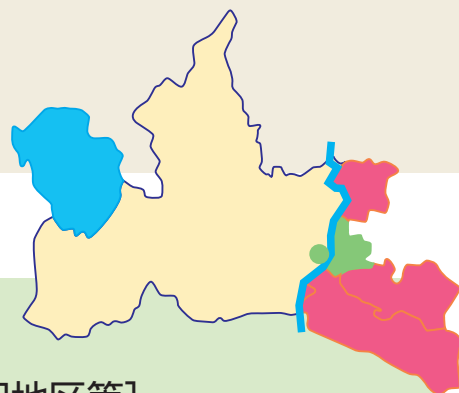
目指す地域の姿Ⅲ 「人と自然が調和した快適で安全な暮らし」

本地域の豊かな自然や農地等を保全しながら、まとまりのある市街地や地域拠点を形成するなど、開発と保全を明確にしたコンパクトな地域づくりを推進し、人、自然、歴史・文化が調和する快適で安全な地域を目指します。

- ①豊かな自然と共生する地域づくり（環境、自然）
- ②快適に暮らせる地域づくり（住環境）
- ③利用しやすい公共交通体系づくり（交通）
- ④安全・安心な地域づくり（都市基盤、安全・安心等）



地域づくり戦略



I 緑と歴史の里ゾーン

[田村・西田・中田地区等]

戦略目標 1 『花と伝統文化の里づくり』

施策の展開

- ①花や伝統文化を生かした地域づくり
- ②伝統文化の保存と伝承
- ③人材を生かした地域づくり

郷土を大切にする心豊かな人づくりや魅力と活力ある地域づくりを進めるため、世代や地域を越えた人材の育成を図りながら、地域が一体となった地域資源の保存・継承活動への支援を推進し、さらなる地域への愛着や誇りの醸成を目指します。



柳橋歌舞伎（中田町）

戦略目標 2 『高速交通網を生かした活力づくり』

施策の展開

- ①持続的に発展する農業・商業の振興
- ②地域を支える工業の振興
- ③感動と出会う魅力ある観光の振興

高速交通網を最大限に生かし、人、モノ、情報の交流が活発な地域づくりを目指します。また、郡山東インターチェンジや福島空港とのアクセスの容易さなどといった地理的特性をはじめとし、多様な産業の集積や研究機関、さらには、豊富な観光資源など、本地域の強みを生かし、魅力と活力ある産業づくりを目指します。



郡山東インターチェンジ（西田町）

戦略目標 3 『豊かな自然に囲まれたふるさとづくり』

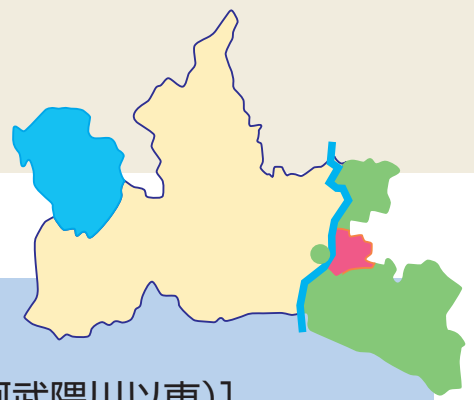
施策の展開

- ①自然を生かした生活空間の整備
- ②憩いと潤いのある市街地の形成
- ③未来をつくる幹線道路の整備
- ④水郡線(磐城守山駅等)やインターチェンジ、空港を生かした地域づくり

豊かな自然や地域資源を守り生かしながら、自然と調和した安全で快適な生活空間の創出を図るため、開発と保全を明確にしたコンパクトな地域づくりを目指すとともに、駅や公共施設などを核とした地域拠点の形成を目指します。また、水郡線や福島空港を生かした賑わいづくりなど、魅力ある地域づくりを進めます。



大安場古墳の頂上から望む田村町徳定地区（田村町）



Ⅱ 文化と暮らしゾーン

〔日郡山地区等（阿武隈川以東）〕

戦略目標 1 『文化の薫り高い地域づくり』

施策の展開

- ① 森の中の文化ゾーンの形成
- ② 若者・夢通りづくり
- ③ 新たな拠点づくり

若者が集い、賑わいのある空間づくりを推進するとともに、気軽に文化芸術に親しめる環境づくりを進めることにより、文化の薫り高い魅力ある地域づくりを目指します。



市立美術館（安原町）

戦略目標 2 『「守る」から「発信」への展開』

施策の展開

- ① 特産品づくりを核とした農業の振興
- ② 歴史と文化の情報の発信

貴重な地域の歴史・文化資源を活用した、魅力的な文化創造空間をつくることは地域住民の心を豊かにします。また、優れた地元産品を生かした地域おこしは、地域の自信と誇りになります。これらを育て、磨き、魅力を高め、全国に向けて情報を発信します。



阿久津曲がりねぎの収穫の様子

戦略目標 3 『潤いと安らぎある美しい街並みづくり』

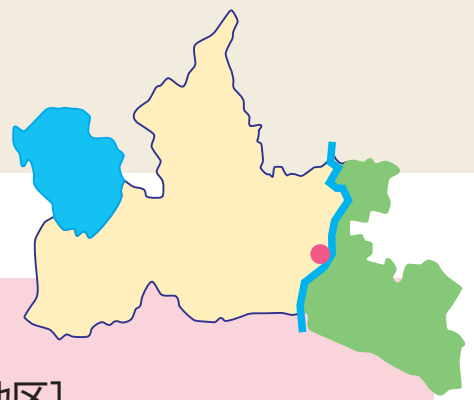
施策の展開

- ① 緑と花、水を生かした生活空間の整備
- ② 自然と調和した潤いと安らぎのある市街地の形成
- ③ 磐越東線（舞木駅）を生かした地域づくり

潤いと安らぎのある街並みの形成を図るためには、水と緑、そして花や市立美術館等の文化施設が調和した地域づくりを進めることが必要です。自然環境の保全や文化的景観に配慮した美しい生活空間を目指します。



東部ニュータウン



Ⅲ 東部地域の玄関口ゾーン

[郡山駅東口周辺地区]

戦略目標 1 『出会いと交流の東部地域の玄関口づくり』

施策の展開

- ①人・モノ・情報の交流拠点づくり
- ②「東北のウィーン 楽都 郡山」にふさわしい玄関口づくり
- ③広域観光ネットワークの起点づくり

郡山駅東口は、東部地域の玄関口であるとともに、周辺市町村を含め広域的な交流の場としての役割を担っています。いつでも、音楽をはじめとする文化や人々とふれあうことができる魅力ある広域交流拠点を目指します。



郡山駅自由通路東口

戦略目標 2 『活力と賑わいづくり』

施策の展開

- ①人を惹きつける魅力ある商業地づくり
- ②都市環境と調和した工業地づくり

郡山駅東口周辺は、商業施設の充実や工業の振興など、発展の可能性を秘めた地域です。地域・事業者・行政等が連携して、人を惹きつける魅力のある商業地づくりや、工場の集積等、本市発展を支えてきた歴史的経緯を踏まえ、人や環境と調和した、共存共栄による工業地づくりを進めるなど、賑わいと活力ある空間の創出を目指します。



郡山駅東側に広がる工場（谷島町）

戦略目標 3 『魅力ある都市空間づくり』

施策の展開

- ①安全・安心な都市空間の整備
- ②人が輝く魅力ある郡山駅東口づくり
- ③安心して移動できる交通体系づくり

郡山駅東口を起点とした交通網の整備、医療福祉施設や賑わいをもたらす商業・集客施設の充実など、本地域の拠点として、安全・安心で快適な都市空間の実現、さらには、中心市街地である駅東西地区が一体となった地域づくりを進め、駅東西地区の均衡ある発展を目指します。



郡山駅東口へ通じる都市計画道路東部1号線（谷島町）

計画の推進に向けて

広域的視点で取り組む未来へつなぐ地域づくり

本地域周辺では、東北新幹線をはじめとする鉄道網に加え、東北自動車道や磐越自動車道等といった高速道路網を有するとともに、田村市の田村西部工業団地、三春ダムやその周辺施設、平田村の道の駅などの地域振興の拠点整備が進められています。

今後は、あぶくま高原道路の全線開通に伴いトライアングルハイウェイが形成されることから、本市東部地域が高速交通網の中心に位置するという地理的優位性や交流基盤等を生かし、周辺地域との広域的な交流や連携の強化・促進を図り、持続的に発展する未来へつなぐ地域づくりを目指します。

施策推進にあたっては、3つの広域的な視点を基本に取り組みます。

① 地域間交流・連携を支える広域交通ネットワークの整備

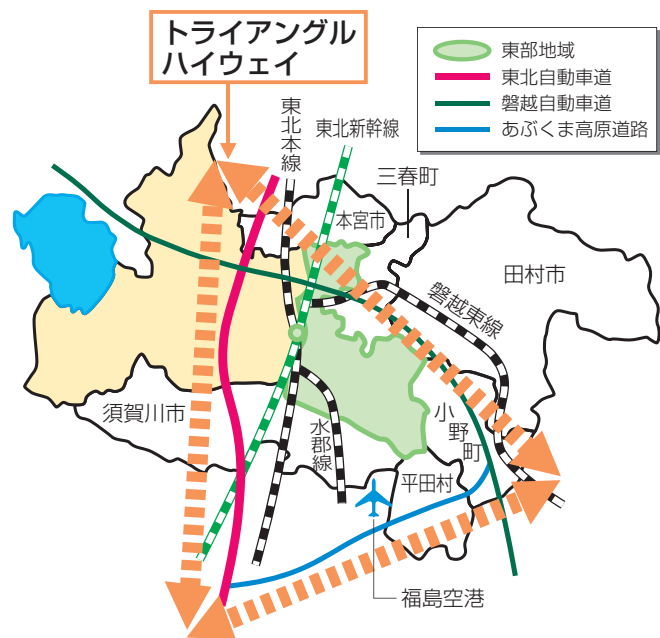
- ◆ 広域幹線道路の整備促進
- ◆ 新たな公共交通体系の構築

② 地域産業振興のための広域連携

- ◆ あぶくまらしさを生かした観光の連携
- ◆ 連携による魅力の向上と販路拡大
- ◆ 工業・技術の交流促進

③ 市域を越えた持続的に発展する地域づくり

- ◆ 広域的な都市機能の補完・連携
- ◆ 交流・連携を支える交通・都市機能の拠点
- ◆ 長期的な視点に立った広域行政の推進

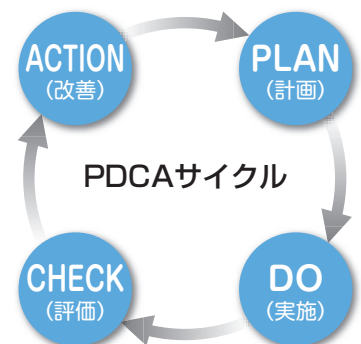


計画の推進のために

「まちづくりは人づくり」を基本に、地域住民などの意見やアイデアを生かし、地域・事業者・行政等が対等の立場で、それぞれが「できること」、「やるべきこと」の役割を分担し、目的と責任を共有しながら、協力して地域づくりを進めます。

本計画の進行管理は、第五次総合計画実施計画の中で実施していきます。本計画では、その実効性を確保するため、PDCAサイクルを導入し、財政計画、行政評価との連携を強化しながら、社会経済情勢や財政状況等への確に対応するとともに、評価（検証）、改善（見直し）等を行い次年度以降の施策の推進に生かしていきます。

PDCAサイクルの概念図
(継続的改善による向上)





郡山市

